

令和4年度もありがとうございました

校長 下中 諭



海星坂の桜の花芽が明日には咲き
そうなまでに膨らんできました。例年
になく暖かい3月は、すぐにでも春を
通り過ぎて行きそうな感じです。

さて、14日に第45回卒業式を終
えることができました。コロナ禍の中
学校3年間で、マスクを常に着用しな
ければならぬ生活でしたが、ようやく
卒業式ではマスクをはずしてもかま
わないようになり、素顔をみせること

ができました。また、式自体も縮小、制限をすることもなく、進行することができてよかったです。

おかげさまで、卒業式はより感動をおぼえるところで、本来の式のあり方について感慨深く思うところでした。

さて、令和4年度を振り返ると、生徒は25人でスタートし、職員も8人が替わるなどして、学校の雰囲気も大きく変わりました。コロナ禍ではあるものの本土に地域に比べ、様々な活動に制限は少なかったのですが、行事の縮小・短縮は否めず、体育大会や文化祭は午前中開催で行わざるを得ませんでした。しかし、短いながらも濃縮した中にたいへん充実しており、生徒たちも達成感があつたのではないかと思います。また、3月には一日遠足で里に行き、町歩きをして同じ甌島ではあるもののその違いを知ることができ、更に里中学校と交流学习ができたことは一つの成果だと思っています。「甌はひとつ」の合い言葉がありますが、最近、徐々に薄れつつある中で、下甌と上甌がお互いを知ること重要性があると感じました。

また、部活動においても人数が少なく、チーム編成がままならない競技もありましたが、里中や本土の中学校との合同チームをつくるなどして、出場することもできました。バレーボール、剣道ともにコーチの方々の熱心な指導もあり、それぞれに成果の上があった部活動でした。

学習面ではタブレットの活用や学習形態を変更するなど工夫を重ね、少人数ならではの学習を進めることができました。個別指導にも力を入れることができたと思っています。特に3年生は島立ちに向け、意識を高めさせ、取り組ませてきました。ただ学習へ向かう厳しさがやや不足していたようにも思います。確かな学力が進路の幅を広げ、高みへ行けることを常々話をしてきました。しかし、焦りや迷いを感じることもなく過ごしており、もう一歩、欲を持って取り組んでほしいと思いました。

保健面ではこれまでコロナ禍であったもののどうにか過ごしてきましたが、1月末の下甌地域でのコロナの感染流行は、本校にも響き、初めての1、2年生が学級閉鎖という事態になりました。その後、感染状況が全国的にも落ち着きはじめ、収束しましたが少人数ならではの脆さを感じ

たところでした。
このように令和4年度を振り返ると、様々なことがある中で、その時の状況に応じ、生徒を主体にした対応ができたと思っております。これも保護者の皆様、地域の皆様の御協力と支援の賜だと思っております。ありがとうございます。

令和5年度には新入生が11人入学し、特別支援学級が2学級増え、26人の生徒でのスタートとなります。

マスクのない、活動の制限のない、新たな学校生活ができます。4年前の海星中学校ではなく、新たな海星中学校のあり方を模索しつつ、創っていきます。

どうぞ令和5年度も保護者、地域の皆様、御協力をよろしくお願いいたします。



第45回卒業式

3月14日(火)に第45回卒業式が挙行政され、3年生9名一人一人に卒業証書が手渡

されました。今年度は、ほぼ新型コロナウイルス感染症流行以前の形式で挙行政いたしました。



在校生送辞：M・Mさん

在校生を代表して、M・Mさんが「いつも寛容な心で接してくれた大好きな3年生。行事や日々の生活での先輩方の姿を見て、生徒会長への立候補を決意できました。月1回昼休みの『みんなで遊ぶ日』では、みんなで一緒に笑って遊ぶ機会が増えました。今まで先輩方がそばにいたことが当たり前で毎日だっ

たので、これらの日々を思うと、とても寂しいです。先輩方のような3年生になれるか不安ですが、これからは私たちが海星中学校の顔として、後輩たちを引っ張っていけるように精一杯頑張ります。」と強い決意を感じる送辞を述べました。

卒業生を代表して、N・Tさんが、「一年生の時は、新型コロナウイルス感染症が流行して、友達と会えなくなったり、マスク生活になったりと、これまで当たり前でできていたことができなくなりました。そんな日々が続き、寂しさやもどかしさを覚えました。



卒業生答辞：N・Tさん

しかし、その経験のおかげで、友達と一緒に過ごせることの幸せや、一日一日の大切さに気づくことができました。2年生では海陽中と統合して新しい仲間が増えて、統合できて本当に良かったです。何気ない日々や行事では、いつもそばに仲間というかけがえのない存在がいてくれました。それらの輝く思い出は、ずっと心に残るでしょう。私たちは来月に島を出ることになります。今までのたくさんの思い出が詰まったこの島を離れなければなりません。不安や寂しさもありますが、高校でたくさん笑って、泣いて、たくさん学んでいきたいと思います。困難が訪れた時には、甌島で出会えた友達、先生方、地域の皆様、そして私たち

を一番近くで支えてくださった保護者の方々を思い出し、次の一歩を踏み出していきます。」と未来を見据えた力強い答辞で締めくくりました。

そして、3年生一人一人が「島立ちの決意」を発表しました。それぞれが家族、後輩、先生方に感謝の言葉を述べ、未来への強い決意を感じる発表でした。最後には全校生徒で卒業合唱を行い、会場全体が感動の渦となりました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、入学後すぐに休校となったり、常に感染対策を講じたりなど、多くの学校生活で制限がある中での中学校生活でした。そのような状況でも、卒業生の成長した姿に、目頭が熱くなる卒業式となりました。

卒業生はいよいよ「島立ち」を迎えます。甌島での生活で学んだことを胸に、大きく羽ばたいてほしいです。



日常マップ町歩き・中中交流学习

3月7日(火)に全校生徒で一日遠足を実施しました。市観光物産課の甌島ツーリズムの事業で、日常マップを活用した、里地域の町歩きをしました。地元のガイドさん3名の案内のもと、里麓武家屋敷通りを中心に散策しました。歴史的建造物や神社等を周り、甌島の歴史について学ぶ機会となりました。同じ甌島とはいえ、実際に歩きながら学ぶのは初めての生徒も多く、真剣な面持ちでガイドさんの説明に聞き入っていました。今回の町歩きを通して、甌島への理解が深まる良い機会となりました。

午後からは、里中との交流学习を行いました。昼休みは、サッカー等をして親睦を深め、交流学习ではグループで協力しながら謎解きレクリエーションを行いました。年度末に、参加した生徒・職員が楽しく思い出となる交流学习となりました。

月	日	曜	主な行事予定(変更の可能性あります)
4	6	木	新任式 始業式 第46回入学式(午後)
	7	金	学校生活オリエンテーション 身体測定 生徒会対面式
	10	月	標準学力検査 家庭学習・生活リズムチェック週間~17日
	11	火	標準学力検査 知能検査 PTA理事会
	13	木	内科・結核・運動器検診(予定)
	18	火	全国学力・学習状況調査(3年生)
	19	水	尿検査1次
	21	金	交通安全教室
	24	月	授業参観 全体PTA PTA総会 学級PTA PTA専門部会
	27	木	心臓検診(心電図検診)【1年生】
28	金	生徒総会	